

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和 5 年度病害虫発生予察注意報第 7 号を公表したので送付します。

令和 5 年度病害虫発生予察注意報第 7 号

- 1 作物名 レタス
- 2 害虫名 アザミウマ類 (クロゲハナアザミウマ)
- 3 発生地域 沖縄本島

4 注意報発令の根拠

沖縄本島における 1 月のほ場調査の結果、寄生株率は 30.4% (例年:0.9%)、発生ほ場率 80.0% (例年:13.3%) となり、例年及び過去 2 年の推移と比べ多発生となった。アザミウマ類は 1 月以降発生が増加する傾向にあるため注意が必要である (図 1、2)。優占種はクロゲハナアザミウマであった。

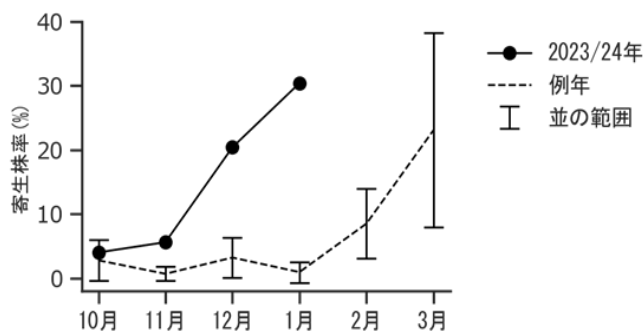


図1 寄生株率の今期と例年の推移

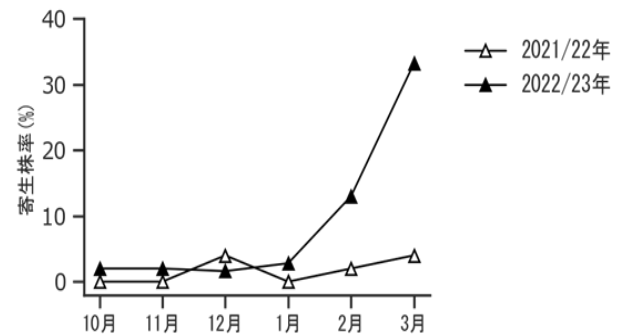


図2 寄生株率の過去 2 年の推移

5 発生生態および被害

- (1) クロゲハナアザミウマの雄成虫は短翅型 (図 3) のみで、雌成虫は長翅型 (図 4) と短翅型 (図 5) 及び中間型の存在が知られている。県内ではほとんどの雌成虫が長翅型である。
- (2) 長翅型雌成虫は体長 1.2~1.3mm で雄成虫は 0.9~1.0mm。発育日数は温度に大きく影響を受け、一般的には温度が高いと短く、低いと長くなる。卵から成虫になる日数は 25℃条件下で 14.7 日、発育が停止する温度は 9.3℃となっている。
- (3) 幼虫・成虫とも葉を加害する。寄生部位は主に外葉数枚の葉裏や葉の付け根であり、結球部には認められない。加害部はかすり状に褐変し、多発すると商品価値の低下を招く (図 6)。県内ではレタス以外にキク科植物やスイートバジル等に発生する。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 発生源となりうるほ場周辺の雑草の除去に努める。
- (2) 定期的に葉裏や葉の付け根を観察し、早期発見・防除に努める。
- (3) 登録薬剤による防除を行う。



図3 雄成虫



図4 長翅型雌成虫



図5 短翅型雌成虫



図6 レタスの被害葉

写真提供：沖縄県植物防疫協会（図3、図4、図5、図6）